



フォレスターうじ 会報

第 265 号
令和3年3月1日 発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <http://foresuta-uji.o.oo7.jp>

二月定例活動

植樹・伐採と掲示板の修理
活動日 二月二十一日(日) 晴
活動時間 九時半〜十四時半
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員十三名
京都府立大学 森なかま 十名
(男性四名女性六名)

最高気温二十一・二度と平年より十一度も高く、四月中旬並みの陽気となった。防寒衣を脱いで身軽になって作業も快適だ。

朝礼後、本日の植樹作業の概要説明を筆者(栗津天ヶ瀬担当)が行った。植樹の幼木は、山城モデルフォレスト推進協議会と宇治市森林組合から頂いた、ヤマザクラ八本、イロハモミジ五本、クリ三本の計十六本。いずれも高さ約一・五m。参加者を四〜五名で一組とし四組を編成、リーダーに新宮、木曾、小林と筆者を指名する。事前調査で決めた植樹箇所と担当する組を図面で指示した。次に小林副会長より植樹の方法の説明があった。各組がクワ、スコップ、カマ、カケヤ各一丁、支柱杭四本、水入りバケツ二個、肥料、麻ヒモ等を持って「京都大作戦の森」に入る。

一方、松川参与をリーダーに四名が掲示板の修理を行った。土中の腐った柱を約四〇cm切除して、新たな木材を足継ぎする作業である。

植樹は、各班四本を分担する。少人数であったが、森なかまの若い力で、午前中に終えることができた。

午後、松川班は引き続き修理作業を継続。植樹班はA・B二班に分れ、植樹した幼木の支障(日照等)となる常緑樹の伐倒、寸切り、枝払い、そして残積みを行う。ロープを掛け伐倒方向を決め

大ノコで受け口、追い口の切り方を学習、実践した。直径十cmほど、樹齢十五年前後のソヨゴ等を各班二〜三本切つて終わる。広場に戻ると、掲示板の修理も完了して、しっかりと立っていた。使った道具は、クワ、スコップは水で洗い、ノコギリの木クズ払い油引きをして収納。本日の作業を無事終了することができた。

森なかまの皆様、ありがとうございました。
(記 天ヶ瀬活動計画担当 栗津 國雄)



2/21 緑の募金による植樹 本会与森なかまのみんなでヤマザクラ、イロハモミジ、クリを植樹

エッセイ

感想(京都大作戦の森づくり
「モミジなどの植樹」に参加して)

京都府立大学 森林ボランティア森なかま

北野 陽大
野田 純花
宅間 太朗
島中 啓成

今回は植樹という貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

今年にはコロナの影響で思うように活動に参加できなかったのが、初めての森林での作業になりました。生まれて初めて植樹の体験をし、森を作ることもとても大変で、多くの時間が必要なことなどよくわかりました。山の斜面での作業は大変足腰に負担がかかりましたし、冬場ということもあって、落ち葉や枯れ草が多く、何度も足をとられそうになりました。また、その中の力仕事は本当に大変なことだと学びました。

ですが、フォレスターうじの方々の優しく丁寧な指導によって、とても充実した体験になりましたし、楽しく達成感のある活動となりました。ドングリの苗を植える作業では、フォレスターうじの皆さんの手際の良さに驚き、技術と経験の圧倒的な差を実感しました。また、森林に関する知識や貴重なお話もたくさん聞いて勉強になりました。今日のような活動やそこでの技術が将来に受け継がれるよう、森なかまとして全力で勤しみたいと思いました。

全作業が終わったときにはくたくたでしたが、初めての森林での作業に大きな高揚感がありました。また、伐採するときの音がすごく好きになりました。全体を通して初めての体験が多く、とても楽しかったです。ありがとうございました。

二月臨時活動

緑の募金による植樹箇所選定の

活動日 二月九日(火) 晴

活動時間 十時〜十二時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員五名

緑の募金による植樹として、山城モデルフォレスト推進協議会からヤマザクラ五本、宇治市森林組合からヤマザクラ三本、イロハモミジ五本、栗三本、計十六本の苗木が本日支給された。これらを取りあえず仮植えし、植樹する箇所を選定するために、深田会長以下五名が参集した。

また本日、宇治市の事業として、京都産の杉材を活用したベンチなどの設置工事が行われていた。二月中に完成する予定であるという。森林公園を訪れる市民たちの格好の休憩所となるであろう。

(記 木曾 宗統)



てんぐ巢病…てんぐ巢状に小枝を生じた落葉期のサクラ(ソメイヨシノ)。病原は糸状菌。(みんなの趣味の園芸)から)広場のサクラを一月に伐採した。

一月に家で収穫できたシイタケを報告する。美味しく頂いた。

写真提供 新宮邦春



エッセイ

春の色がやって来た

木曾 宗統

ほぼ毎朝散歩ができるようになったことは先月号に書いた。二十分から三十分のことなのでさほどの運動ではないのかも知れない。だからか、まだまだ寒い。でも、朝の気温が5℃ぐらいだと歩き出して十五分ほどすると身体がポカポカしてくる。

話が飛ぶが、二月の活動日の次の日、福井の実家に帰った。ふと車庫の背戸の下に目をやると、フキノトウが四つばかり顔を出しているではないか。家の者が「明日宇治に戻るときに採りましょう」と言ったが、収穫することを忘れて戻ってきてしまった。ああ、もったいない。それにしても瑞々しい若菜色とはあの色なんだろうなとしみじみ思い、悔やんだ。

話は戻って、まだまだ寒いですが、この頃の散歩で出くわすのが小鳥である。僕は鳥も花も名前を知らない。もちろん、木も。でも、鳥なら、スズメ、カラス、鶯ぐらいは知っている。その鶯を一週間ほど前の散歩で見かけたのである。なんと、それは本当に鶯色ではないか。そうか、鶯色とはこの色なんだとしみじみ思い、静かに見守った。でも、それはメジロだとHさんに指摘された。感謝

それはさておき、この頃の小鳥たちは逃げない。一メートルぐらいの近くを僕が歩いても平気でちょんちょんこんと歩いている。なんだか心が安らぐひと時だ。巷では獣害とか言われ、熊や猪、鹿たちが嫌われ者になっているが、今僕は小鳥たちに心を優しくしてもらっている。しかし、また人間の身勝手に鳥害なんて言い出すのではないだろうかと心さみしく思った。

それでも、今の僕には、目の前にある春の兆しが心を安らかにしてくれる。近所の梅も白と紅とほころんでいる。近所の散歩道の枯葉もちよっと昔の思い出になった。

今後の活動・行事の案内

令和三年年四月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

四月定例活動

四月十八日(日) 天ヶ瀬森林公園

・令和三年度総会

・安全講習会

フォレストアージュからのお報せ

森林ボランティアフォレストアージュは、みんなで力を合わせて森林保全活動をしています。森林を学ぶこと、森林を楽しむことを大切にしています。新しい仲間を募集中、まずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア「フォレストアージュ」事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 090-9270-0763

編集後記

裏面の写真(てんぐ巢病のサクラ)は先月に掲載したかったが、紙面が埋まってしまった。フォレストアージュ広場にあったこの写真の状態と同じサクラを深田会長が一月に伐採しました。お疲れ様でした。

(会報担当 木曾 宗統)

(写真担当 林 幸広)

会員 30名 = 30
後援会員 13名 = 13
小計 43
市役所他 = 13
合計 56部

市役所掲示板用 (片面) 1部
森林公園掲示板用 (片面:B4) 1部
印刷用 (片面) 1部

森林ボランティアの一日体験

申込み受付中。

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。ご興味のある方はフォレストアーツ事務局までご連絡下さい。いっしょに汗をかきましょう。